

イキイキ☆コドモタイムズ

第11号

発行 浄土宗児童教化連盟

事務局
〒590-0935
大阪府堺市堺区
神明町東3-1-40
法伝寺内
TEL・FAX
072-233-5354

と京都で かいさい開催 おや こしんぎょうどうじょう こ ほうじょう え 親子信行道場～子ども放生会

親子信行道場～子ども放生会が昨年11月24日(土)、京都の大本山百万遍知恩寺で開催されました。

親子合わせて約50名の参加者がありました。このお寺は百万遍の数珠練りで知られている本山で、当日はお勤めの後、お念仏の声に合わせて、みんなで大きな数珠を練りました。

チャレンジランキングでは、紙飛行機飛ばしや空き缶積み、手のひら傘立てなどに挑戦しました。

昼食はお母さんたちによる手作りのイモ粥です。普段食べることのない食事ですが、みんなから「お代り」の声が聞こえ、あつという間にたくさんイモ粥がなくなりしました。

お昼からは放生会です。放生会とは生き物を放つ儀式で、普段私たちはいろいろな生き物の命のおかげで暮らしています。肉や魚を食べたり、またペットで犬や猫、鳥などを飼っています。そんな生き物を自由に育てるのが放生で、お釈迦さまがおられた時から行われています。今回は鳩を放ちました。放生会のお勤めの後、箱に入れられた鳩を逃がしてやりました。

部屋に戻って今度は「写仏」です。写仏とは仏さまのお姿を書き写すことです。

子どもたちに好きな仏さまの絵を選んで描いてもらいました。

その後マジック・手品を見て楽しく過ごしました。いろいろなことを体験して、いっぱい楽しんだ秋の一日でした。



← 次のページへ

笑顔がステキな君たちへ

おおきに和尚の

やあ、みんな！ わいはおおきに和尚や。大阪のお寺の和尚やでえ。

今回からみんなにいろんなメッセージを届けることにするでえ。

この間テレビを見ていたら奇跡の物語というのをやっていた。愛知県の貴嗣君の話や。貴嗣君は病気のために一時意識不明にまでなっていたのが、奇跡的に回復し小学校へ戻れるようになったんや。

身体に麻痺の残る貴嗣君は、自分はいつも助けてもらうばかりで人の役に立っていないやないか、だれかの役に立ちたいと思ひ、みんなに楽しんでもらおうとクラスのみんなと協力して、近くの福祉施設で人形劇をした。だれかの役に立ちたいという彼の希望はかなえられ、大きな拍手をもらい人形劇は大成りやった。

自分で折った折紙のプレゼントも喜ばれたそうや。

貴嗣君はその後車椅子での生活になつて、体力的には無理だと思われた修学旅行にはみんなの協力のおかげで参加することができ、楽しく過ごせたそうや。

しかし貴嗣君は卒業間近で12才という年齢でこの世を去ってしまったんや。

「だれかの役に立ちたい」。そんな貴嗣君の言葉にはわいも心を打たれたよ。みんなに助けられ支えられたことに感謝の気持ちを持っていた彼やからこそ言えたんやな。命というの自分だけのものやないんや。

貴嗣君の卒業した小学校の玄関には、貴嗣君の書いた作文の「友だちっていいよ。ほくも友だちにやさしくしたい。そして友だちを大切にしたい」という言葉が飾られてあるそうや。

良い友だちを作ろうと思つたら、まず自分が良い友だちにならんといいかなあ。

みんなも良い友だちになろうや！

おおきにおおきに。



(田中 信道 浄土宗社会国際局長)



◆イキイキ自然学校◆

外へ出てみよう!

日本レクリエーション協会 インストラクター 永目喜一郎

少しあたたかくなってきましたね。山や公園へ行ってみましょう。

皆さんは茅輪痕というものを知っていますか。写真の矢印の所に輪が重なっているのが見えるでしょう。ここが茅が着いていた痕なんです。これを茅輪痕といいます。この茅輪痕の間が一年間に伸びた部分です。

この枝は桜の枝ですが移植したものですから間隔が短いのがわかりますよね。ちゃんと根付いてからは長くなっています。

公園なんかに行ったらサクラ、ウメ、クスノキ等の枯れ枝を見ていると良く気が付くと思います。どんな木でも分かるというわけではありませんが一部の木でははっきりと確認することが出来ます。

季節の違い、寒暖の差で枝が伸びるのはとても面白いものです。興味があったら公園や山へ行ってみるのもいいですよ。



やあ、シャカリンだよ。お釈迦さまはみんなが毎日実行してほしいことを八つに分けて教えてくださっているよ(八正道)。第二回目は「正思惟」のお話。正思惟とは正しい心構えのこと。人や動物に接する時は、心をきれいにしてお優しくしてあげることが大切だね。



シャカリンのミニミニ説法!

でもいつもいつもやさしい心とは限らない。ときどきは怒ったり、泣いたり、悲しんだりするよね。どうしたらいいかなあ。フロイトという昔のお医者さんが言っていたこと。心の中には三つの力があって、一つは欲望のまま進む力。一つは社会のルールを守って正しくしようとする力。もう一つは、前の二つをうまくコントロールする力。赤ちゃんには一つ目の力しか備わってない。だから泣きたい時は泣いて欲望のままだね。二つ目の力はとても正しいことのように思えるけど、これだと自分の欲望が満たされることが多く、ずーっと我慢ばかりしなくちゃいけない。それはなかなかつらくて心がくじけそうになるね。

三つ目の力は自分の心を指揮する司令塔だよ。この働きがとても大切なんだ。

たとえば、ほしいゲームソフトをお父さんにねだって買ってもらうのは簡単なことだけど、それを自分のお小遣いを少しずつためて買うことは、ほしいと思う心をうまく調節していることだよ。ただ必死で我慢するだけじゃなくて、何か乗り越える方法を考えてがんばっているうちに心の司令塔は強くなっていくはず。

ナムナム

ナムナム

質問箱



質問
 少し前のことですが、節分に豆まきをしました。豆はおいしいのに、なぜ鬼は逃げ出すのですか？
 (岡山県 小学校4年)

答え
 「福は〜うち、鬼は〜そと。」さて皆さんも節分の日には、大きな声で豆まきをしたことがあるでしょう！
 この節分の行事は、昔々に中国で行われていたものが、一二年ほど前に日本に伝わり、

朝廷の儀式として十二月に(大晦日の除夜の鐘と同じ様な意味で)行われていました。それから六〇〇年くらい後に、今の立春の前日(季節の節目に鬼が行進する日)二月三日の夜に行われる行事となりました。
 福(しあわせ)を自分に招きいれ、鬼(厄難・不幸)を自分の中から追い出すために豆まきを行います。そして家の入り口などに、鯛の頭やお頭つきの骨を柵の枝にさしておきます。追いかけて来た鬼が、再び入って来ないようにと、いろいろする行事であります。

福のしあわせとは、願いがかなったり、健康でお金がたくさんふえ、いろいろなものが手に入る、家ぞくがにこやかにすごせるようなことでしょうか。鬼の厄難・不幸とは、病気やけが、家ぞくがけんかをしたり、色々な災害や不都合なことが起こることだと思えます。
 しかし、これらを願うことも大事なのですが、願うだけではかなうものではありません。福も鬼も、じつは私たちの心の中にかくれているからです。
 「さびは鉄から出て、その鉄を傷つけますよ」というおしゃか様の言葉のとおり、私たちの「鬼」もそこからやって来るだけではなく、私たちの心の中から生まれてくるのですよ。
 あれも欲しい、これも欲しいという欲だらけの心や、願いがかなわないことに腹を立てたり、どうして自分だけが…なんてことばかり言っていると、やがて「自分さえ良ければ」と思う心の鬼が出てきます。
 さびは、鉄を腐食(くさらせてとかす)させる前にみがい取り除けば良いように、心の中の鬼も自分を不幸にする前に取り除けばよいのです。心の鬼が外に出てくれば、あとは福の心がかくれていますよ！
 「福」も「何事も心がけしだい」だとか「心の持ちよう」だとか言うように、正しい方向・良い方向に心を向けていけば、必ずしあわせを感じる心が育ってきますよ。かなう願いの大小、大きさととられることなく、しあわせが生まれてくるはずですよ。
 豆は種です。種をまくと実があります。幸せの種をまき大きな実を得るといふ意味合いと、その妨げとなる(悪)魔を滅(め)するために魔滅(まめ)を外にまくという意味から、豆まきが始まったとも言われています。
 質問におこたえするならば、どうやら鬼さんに、豆の味の好き嫌いがあつたわけではないようであります。

イラスト by 池田 敦

みんな、できるよ!

てあ ほうほう かがた 手当ての方法(やり方)

ケガの調べ方(2)



LSFA インストラクター 吉田一心

前回のケガの調べ方を続けよう。1ヶ所を触るごとに「ここは痛くない?」と声をかけながら調べよう。

3. 耳
 (1) 耳の中をのぞいてみよう。血液やなにか透明な液体が流れ出ていないか、両側ともよく調べよう。

(2) 次に、耳の後を見よう(両側とも)。青く内出血がないか。

- 4. 顔**
 (1) 目のまわりに内出血のような「くま」がないか。
 (2) 鼻から出血がないか。(ほんの少しでも重症)
 また、鼻の中になにかつまっていないか。
 (3) 口をあけさせて、歯が折れていないか。
- 5. 首**
 (1) 不用意に動かさないように注意しながら、指で触り痛み・はれを調べる。
 (2) 前から目で見ても変形や異常がないか。
- 6. 脊柱(背骨)**
 (1) 体を動かしたり曲げたりしないで痛みと変形を調べる。
 (2) 写真のように、首の後ろから尾てい骨まで、指先で触れながら調べる。
 (3) 背中になにかわからない時には無理に調べなくてよい。
- 重要…**
 1. 頭からこの6.脊柱まで一つ一つゆっくり確実に調べて、何か異常があればすぐに救急隊を呼び、動かさずに到着を待とう。



晴太くん 寺田 剛



シヤカリンのストラップが出来上がりました。数珠の形になっていて、親玉をのぞくとシヤカリンが見られます。1つ500円で販売中です。アクセサリーにどうぞ。

ねんじゆ
シヤカリン
念珠ストラップ
新発売!!

これも仏教の言葉だよ!

人間(にんげん)

人間はインドの言葉「マヌシャ」が訳されたもの。本来の意味は、人の住む所、世の中という意味。人は一人では生きていけない。人と人の間に生きるもの。だから、人間は仲良く生きなければいけないだよ。

内証(ないしやう)

内証はよくないよね。でもこの内証はもともとは、仏教語の内証。心の中で悟ると言う意味だったんだよ。心の中の事だから内に秘めるので、やがて今の意味の内証となったんだよ。やっぱり自分の気持ちは素直に伝えないとけないね。

ちがいさがし

みんなであら考えよう



1. 大きいコマの回転の方向
2. お坊さんのお袈裟
3. 少女のマフラー
4. 小さいコマの色
5. 右上の紙吹雪

ぜんかいの前の答え

お知らせ

みなさんからの記事お待ちしています。学校のこと、家の中のこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品もお待ちしております。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

送先

〒590-0935 大阪府堺市堺区神明町東3-1-40 法伝寺内 浄土宗児童教化連盟事務局 TEL・FAX 072-233-5354 Eメール puk-puk@wf6.so-net.ne.jp 感想もいっしょに書いてくださいね。

3月・4月は別れと出会いの季節だね。離れ離れになるのはさびしいけれど、また新しい友だちとの出会いがあると思うよ、楽しみにしよう。さて右の絵と左の絵のちがうところを5つさがして、ハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で30人の人に記念品をプレゼントします。しめきりは平成20年5月15日です。送り先は左記まで。ファックスやEメールでもいいよ。記事の意見や感想も書いて送ってね。

ぶくぶく編集室



日本では大人として扱われる年齢(成人年齢)は、18歳ですが、これは今から百三十年以上前の明治九年に法律で決められたことなんです。今、この年齢を十八歳まで引き下げるか、二十歳のままでもいいかどうか見直されるそうです。というのも、二〇一〇年から国民投票には十八歳から参加できるのに合わせて、成人年齢を考え直すということなのです。もし成人の年齢が十八歳になったとしたら、大人の特権をいろいろ受けられます。ただ、大人になるということは、それなりの責任も伴ってきますので、いいことばかりではありません。

みなさんはどうですか。早く大人として認めてほしいですか。それともしばらくは未成年として過ごしたいですか。

